時事新報

郵遞局認可
明治十八年二月廿五日
（西暦一千八百八十五年）
水曜日
第九百一號
日曜日休刊

公報 東京図書館

○内務省告示第六號

本年（一月）太政官第壹號ヲ以テ國道之儀布達相成候ニ付該線路別表之通相定候條此旨告示候事（別表略ス）

明治十八年二月二十四日　内務卿伯爵山形有朋

時事報報

北京ノ談判

遣清大使ノ人撰ハ既ニ内定アリシトモ云ヒ又未ダ定マラズトモ云ヒ我輩ハ未ダ其内情如何ヲ審カニスル能ハズト雖ドモ若シモ我廟議既ニ大使派遣ノ事ニ決定シアランニハ不日其人撰モ定マリ人撰ノ定マルト同時ニ大使ガ東京ヲ發スルノ期日モ定マリ事着々其緒ニ就クベキヤ疑ヲ容レズ何トナレバ事情ノ在ル所左ノ如クナレバナリ今回大使ヲ北京ニ參向セシムルノ必要ニ迫リタル其原因ハ去年十二月六日以後朝鮮京城ニ於テ支那人ト朝鮮人トカ惹セテ我日本人ニ屈辱ト損害トヲ加ヘ日本人ノ殺サル、者四十餘人日本公使館モ燒カレ日本兵營モ燒カレ日本公使以下百五六十名ノ日本人ハ僅カニ身ヲ以テ京城ヲ脱レ出テタリ此恥辱損害ノ洪大ナルハ世ヲ挙ゲテ皆承知スル所ニシテ今更我輩ノ再說スルヲ要セズ恥辱ハ豈カザルベカラズ損害ハ償ハシメザルベカラズ是即チ今回朝鮮事變ノ甚タ重大ナル性質ナ有スル所以ナリ去月上旬井上全權大使ガ京城ニ於テ朝鮮ノ全責金宏集ト談判シテ五箇條ノ新約ヲ結ビ朝鮮政府ヲシテ罪ヲ謝シ損害ヲ償ハシメタルヲ以テ是レニテ朝鮮事變ノ一部分丈ケハ始末付キタリト雖ドモ此事變ニ付支那ガ日本ニ對スルノ責ハ未ダ寸分モ其償却ヲ果サズ而シテ事体上一日モ等閑ニ附シ去ルベキモノナラザルカ故ニ我レニリ迫ル急ギ其償却ヲ催促スベキ筈ナルニ今日ニ至ルマデ我々ノ未ダ去ル沙汰ヲ聞カザリシハ蓋シ北地春氣甚ダシク天津ノ河口ハ年ノ十二月ニシテ翌三月ノ差入リマデ堅氷ニ鎖サレテ輸船ノ進航ヲ許サズ去レバトテ氷雪ヲ踏テ陸路北京ニ入ルノ不便ハ春暖ヲ待テ汽船一直ニ天津ヲ指スノ便捷ナルニ如カズ使ヲ止ムヲ得ズ五十餘日空シク東京ニ在テ天時ノ循環スルヲ待ナダルモノニアラン然ルニ今東京郊外梅花既ニ綻ビ遠キ天津ノ河氷ハ明日ヲモ待タズ融解シ去ルベキ氣候トナリタレバ用事アル身ハ一日モ安居スベキニアラズ扨テハ我輩ガ廟議既ニ大使ヲ清國ニ遣ハスコトニ決定シアラバ其責向ハ必ズ近日ノ内ニアラント云フ所以ナリ

扨我輩ハ敢テ北京ニ發程スルトシテ其談判ノ次第ハ如何ナルベキカ我輩ハ敢テ如何ナルベキヤ我輩ハ固ヨリ其事ニ關シ能ハズ雷鳴者ノ見ル所ト

[illegible]

日上京したり

○海軍省　海軍大佐鄕島敬典氏外二名は去る廿一日左の通仰付けられたり

横須賀屯營長兼練備艦總理海軍大佐
鄕島敬典

免兼職
免本職補兵學校教授兼練習總理
横須賀屯營長海軍大佐
鄕島敬典
主船局副長被差免小野瀧藏船所長海軍中佐
石丸安世
小野瀧藏
免本職補横須賀屯營長兼練備艦總理
包義

○非職　東京大學準奏任御用掛信夫粲氏ハ去る廿一日文部省に於て非職仰付けられたり

○踏舞會　井上伯の夫人は來る二日内外の紳士婦女を鹿鳴館に招請して踏舞會を催ふすに付横濱來港の爲め翌三日午前第一時臨時蒸の汽車と新橋停車場とに歩顧なしたりと

○婚儀　曾て前田（利鬯）侯の令妹佐和子の方が近衛（篤麿）公に縁談整ひ納納を取替はせしとの事は本紙上に記載せしが愈來る三月十日の吉辰と卜して入輿の筈なりと

○水產局　今度、課より局に改まりたる水產局は退々事務を擴張するが爲め漁務、試驗、庶務の諸課長を近日屬官中より撰定なさるよし

○府縣會　大坂府に於ては來る三月二日より通常府會及區郡會郡會を開設する筈なるが同議會に附すべき議案は十八年度地方稅支出豫算にして其の總類と金九十萬三千六百五十五圓十四錢九厘内五萬二千八百二十七圓四十九錢九厘の國庫下渡金ある福島縣に於ては去る二十日縣會議員と招集し同廿二日より臨時縣會と開設せり審議に附する條項は常置委員選擧の件、十七年度監獄費繰算追加の件、十六年度地方稅雜出補充法の件等なり岡山縣に於ては來る三月一日より通常縣會を開く筈なり島取縣に於ては十六年度地方稅公儲金收入不足、十七年度監獄費及土木費、町村土木補助費不足補充并ゑ土木費國庫繰替金年賦還納測替等の事項審議れたため本月十四日より臨時縣會を開設したり、德島縣に於ては縣立德島師範學校及附屬小學校德島書籍館燒失し再築及中學校建築を要するゑ付況十七年度教育費增補并に退徹業費議決ため昨廿四日より臨時縣會を開設する筈なりと

○行軍　近衛歩兵第一聯隊修業兵は明廿六日駒場農學校近傍ゑ於て放火演習を施行し又同歩兵第二聯隊第一大隊第一第二中隊[illegible]日埼玉縣下足立郡浦和驛へ同隊第三中隊は神奈川縣下多摩郡府中驛へ同隊第四中隊は埼玉縣下葛飾郡白子村へ一泊行軍し同夜其近傍に於て放火演習と施行する筈なり又東京鎮臺歩兵第二聯隊第一大隊と今廿五日千葉縣下千葉郡稻毛村へ一泊行軍施行の筈なり

○倫敦爆發の詳報　去月二十四日倫敦のウエストミンスター館（議院の類に在りて古來諸王の畫像塑像等を陳列する處なり）を初め三箇處に於て爆發の變ありしは當時倫敦よりの電報に見えしが今同月下旬倫敦よりの報を見れば其日工學士グリーンなる人が二名の婦人と共にウエストミンスター館の周圍を歩行し居たる[illegible]ヒストミンスター館の屋根に成下に何ゥは知らず煙の出るものなるを聞りそれダイナマイトと二人の婦人とを共に二人の婦人と体を取出して連方に名及びグリーン氏は數箇所に窓と破られ數百箇所の損處を生じ起り今度は下議院の備付の器具等には殆クラットストン氏及世上の取沙汰には數込みなるならんと云發には屋瓦を破られが若し爆發の後ゑ起損害と及ぼしたるゑ數名重傷を受けたりにて米國ゑ移住したる爆發の起りたる地は此事變の爲め全都の六日同地發れ報に據れ非理と咎め米國政が米國内ゑ於て惡計ヒ又倫敦の諸新聞も國政府ゑ抱合に及ぶ

○車長の罰金　昨年近傍ゑ於て汽車の衝しが其際機關車に乘の廉を以て此程各々名るそれ〳〵罰金の

○安宅館　大坂西區るが發起にて今度有と建て入浴患者が遊聞く所に拔れば同館師ゑる醫學士米村宏に着手しゑると云へ

○噴火鎮定　鹿兒島る旨一昨廿三日同縣

○滿鐵道の汽車　昨午後四回にして當分時間は品川停車場のみて倉庫三月一日

○上野停車場　日本橋取り已に一昨廿三所運立に着手るしたる

○堀割工事　世上江戸、利根の兩川する事にありたるゑ

○貨庫新築　共同運臺の搬内を拜借して

○深川區役所　同所倒壞の件數は八萬千出生本籍男六百五人五十六人、死亡本籍男九十二人、女六

○郵機械付　曾て本

雜報